



# 善行地区福祉だより

## 第83号

編集・発行

藤沢市善行地区  
社会福祉協議会  
藤沢市善行1丁目2-3  
善行市民センター内  
電話 0466-81-4431



神崎トクさん(第一伊勢山辺)を市長が訪問

百歳おめでとう

## 地域の子どもの居場所

～放課後のデイサービス～

少子化の中で、子どもの居場所づくりが話題になっています。子ども食堂やフリースクール、地域子どもの家や児童館、児童クラブ(学童保育)などが身近なところにあります。家庭や学校以外で安心・安全に過ごす場、前号では放課後児童クラブを紹介しました。最近見かける「放課後等デイサービス」も、子どもの居場所のひとつです。子どもは地域の中で育つともいわれ、自由に過ごせる場や様々な交流と体験の場も求められています。

### 子育ての不安は 子ども家庭課へ

藤沢市では、子育ての不安や虐待について、発達に心配のある子どもの相談などを子ども家庭課(子ども家庭センター)で受けています。また、障がいのある子どもの通所支援や福祉サービス利用などの相談窓口もあります。



障がい児の通所支援には、特別支援学校や特別支援学級等の授業が終わった後の居場所として「放課後等デイサービス」があります。そのサービスを利用するには、利用申請を子ども家庭課で行い、受給証の交付を受け、サービス提供事業所と契約をして利用開始となります。福祉サービスの内容は様々で、利用者が希望する支援によって申請します。藤沢市内に放課後等デイサービスの事業所は五十九カ所あり、そのうち善行地区には八カ所あります。事業所によって、遊びの中から成長を見守ったり、高校卒業後の自立に向けて支援したりなど、特色を活かして運営されています。子ども家庭課は藤沢市役所本庁舎三階にあります。



プリズム外観

### 放課後等デイサービス サービスセンターぱる プリズム

善行地区にある障がい児の放課後の居場所です。定員は十名で、小学五年生から高校三年生までが利用しています。市内では珍しく高校三年生までが対象となっています。学校まで送迎車で迎えに行き、帰りは自宅まで送っています。プリズムでは、集団や個別でのプログラムがあります。集団では運動やおやつ作りなど、個別では一人ひとりに合ったプログラムが用意されています。取り組む教材は手作りのものが多く、棚にぎっしりあって驚きました。



教材の棚

先の予定が分からないと不安になる子どもには、その日の予定が文字や写真カードで提示されています。

夏休みや冬休みはお弁当を持参して昼から夕方まで過ごし、社会スキルを体験するため、買い物に行くことや洗いや物をすることもあります。祝日には特別なプログラムとして、映画上映会やうどん作りを行っています。子どもたちが楽しめる場所でありながら、生活力や社会力を身に付けることのできる場所になっています。



弁当箱を洗う

### 誰でも参加できる事業を

当協議会では、これまでレクリエーション大会や、さつまいも収穫体験など地区内の福祉施設の利用者を対象に事業を行ってきました。

今年度、新たに年令や、障がいの有無に関係なく誰でもが気軽に参加出来る交流事業「ポッチャ大会」の計画を進めています。積極的に声をかけて参加を広げていきます。



未来あり  
善行地区に  
笑顔あり

善行かるた

### 読者の声

(感想や要望情報等  
お寄せ下さい)

#### 坂のまち善行

先日、知人から「善行ふるさと見どころマップ」というパンフレットがあることを聞かされました。手に取ってみると初めて見ることができ、よその土地に行ったような気分でした。

表紙のサブタイトルの中にある「坂のまち」が写真入りで紹介されていて、二〇一二年には坂道の愛称募集のことにも触れられていました。このマップを持って散歩し、未知の善行との出会いを楽しみたいと思います。  
(伊勢山辺 六十代女性)



#### 散策して思うこと

私は歩くことが好きで、あちこち散策しています。元気で明るい笑顔の子ども達に出会うと私も明るい気持ちになります。お互い支えあい住みよい社会を築いて、子ども達が自分の育った地域がたのしかったすばらしかったと、誇りに思える故郷にして、次の世代に渡して行くことが、私達の義務だと思います。  
(善行駅前 七十代男性)





### 藤沢市消防局 北消防署 善行出張所

住所 藤沢市善行七七一〇  
電話 〇四六六一八一―二六六一

善行出張所は、昭和五十五年三月に開所しました。令和六年元日に発生した能登半島地震は、多くの人が十三年前の東北地方太平洋沖地震による大規模な災害が鮮明に甦ってきたことでしょうか。

そこで、災害時は緊急援助隊として出動したり、通常業務として救急・消防要請に応えてくれる善行出張所を訪ね、消防隊長の安部正文さんからお話を伺いました。

#### 消防署の主な業務

消火・救急活動や、火災予防の推進啓発活動です。善行出張所の職員数は二十二名、常時、消防隊員四名・救急隊員三名計七名で、二十四時間勤務しています。



出動に備えてスタンバイ

藤沢市消防局は、緊急援助隊として能登半島地震で能登町にある「やなぎた植物公園」に野営しながら、一月十日、二月十二日の三十四日間、計四十隊百三十九名が救援にあたったそうです。

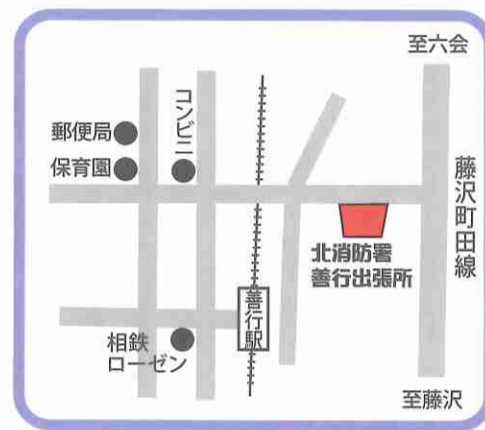
#### 災害に備えて



ふじさわ防災ナビ冊子

「避難所では、被災者が協力して運営を担うことを知っていますか」安部さんの第一声でした。行政が全てしてくれると、誤解してはいませんか。開設後は、各自で自主的に行動しなければなりません。そのために各自、各家庭で災害があった時の備えが重要になってきます。

各家庭に配布してある「ふじさわ防災ナビ いま、わたしたちにできること。」を日頃からよく目を通し、指定避難所の確認や非常用持ち出し袋の点検、水や日用品のストック、簡易トイレの準備等をしておく必要があります。



#### 市民の命を守る

日頃の救急要請に於いては、消防車も同時に出動する事が多いです。これはエレベーターのない高層階での救出や、救急隊員だけでは手がまわらない事態になった時に消防隊員が支援するためです。通常救急車には救急救命士一名以上を含めた三名が乗車しています。一一九番に出動要請する時には、火災と救急の区別や住所を直ぐに告げられるよう心の準備をしておき、大切な命をひとつでも多く守りたいものです。



最新機器搭載の救急車

### 私たちにもデジタル化の波が

近年私たちの身近なところでは閲覧板がいつの間にか手書きから、パソコンで作成したものが当たり前、病院や薬局で使用する健康保険証がマイナンバーカードにとって代わろうとしています。スマホを有効的に使うことで、手軽により利便性の高い生活が送れる時代になっています。

#### デジタル社会とは

私たちが幸せになるために、人間の生活や文化・産業などがITの力で年々進化し、利便性や生活の満足度が向上していく社会のことです。ITとは英語のインフォメーションテクノロジーという言葉の頭文字を略したものです。日本語にすると情報技術という意味になります。

#### 携帯電話がスマホに

著しく進化の速いものが携帯電話ではないでしょうか。出発点は電話と簡単なメール機能だけでした。ところが今では名称がスマートフォン（スマホ）に変わりました。自分が撮った写真を簡単に友人に送ることができたり、キャッシュレスで生活必需品の買い物をしたり、新幹線のキップや航空券までも購入できるようになってきています。



相談窓口

知らず知らずのうちに私たちの生活のさまざまな場面にITが溶け込んできています。

#### スマホの何でも相談

デジタル推進室と善行公民館の共催で、スマホを使いたくてもどうしたらいいのかわからない方を対象に、月二回スマホ何でも相談窓口が開設されています。

相談内容は相談者により異なりますが、一人当たり三十分で料金はかかりません。事前申込制で、詳細は広報ふじさわやチラシをご覧ください。



スマートフォン

#### 利用者の年齢層

四十〜九十代と年代幅が広く、女性の利用が多かった。

#### 相談のきっかけ

子どもからのプレゼント  
自分で買った  
初心者講習を受けたけれどよく解らなかった など

#### 相談内容

LINEの使い方  
文字の入力  
撮った写真の整理  
地図の使い方  
二次元(QR)コードの活用  
キャッシュレス決済 など

#### 利用者の感想

個人の対応が良かった  
疑問点が解消した  
もっと説明を聞きたかった など  
担当者は「高齢者の前向きな姿勢が素晴らしい。これからもこの事業を進めていきたい」と話していました。

#### 相談窓口開催日

実施日	申込日
7/3, 10	6/20~
8/14, 26	7/22~
9/24, 30	8/20~



広報部会  
福祉部会  
各部会の活動  
ふれあい部会  
地域推進部会

楽しく食べよう会

善行市民センター  
多目的ホール  
対象 八十歳～八十二歳で  
一人暮らしの方

十一月二十八日(火)  
参加者 四十七名

寒い日は食べやすい野菜たっぷりの手料理で、心も体も温まります。大勢の人との食事は美味しく、会話も弾みましました。  
いきいきサポートセンターの紹介やCSWの健康講話がありました。  
アトラクションはマンドリンとギターの演奏です。



アンサンブル・アモーレ

優美な音色に合わせて、懐かしい曲を手拍子や体でリズムを取りながら声を合わせて歌いました。「きよしこの夜」では、演奏者がトナカイやサ

ンタクロースの帽子を被って曲を奏でました。一足早いクリスマスコンサートを楽しみました。

民生委員児童委員協議会からケーキのお土産があり、参加者の方は笑顔で「ありがとう」とスタッフに声をかけていました。

三月十九日(火)  
参加者 四十三名



アロハ・ウクレレ

春を感じられるようなちらし寿司と、彩り豊かな料理です。

CSWから日光浴が健康に良いとお話がありました。アトラクションはウクレレの演奏です。十八名の奏者はアロハシャツにレイをかけて、息の合った演奏を披露しました。会場内がハワイの風に吹かれているような音色に包まれました。

**お知らせ**

- ふれあいレクリエーション 7/6
- 敬老会 9/12,13
- 楽しく食べよう会 11月



3月のメニュー  
・ちらし寿司  
・しらすミニコロッケ  
・手鞠麩のすまし汁  
・いちご大福

「ふるさと」を全員で歌い、清々しい気持ちになりました。アンコールは「真珠貝の歌」でハワイアンのリズムカルな曲に大きな拍手や手をふっている方もいました。魅力的な春の演奏会を楽しみました。  
MAHALO (ありがとう)  
【地域推進部会】

認知症サポーター

養成講座 in 善行中学校  
二月二十七日(火)

善行中学校体育館  
対象 善行中学校二年生  
一四〇名

講師 キャラバン・メイト  
「コミュニケーションワーカー」

今年度も二年生を対象に認知症を理解し、認知症の人を地域で見守ることを学ぶ目的で実施しました。

講師からスライドを使い、わかりやすく高齢化の現状などの講義がありました。認知症の症状から日常生活が難しくなる背景や理由を理解し、認知症の人に優しく声をかけて手伝う方法を学びました。ロールプレイでは「駅に行かなくちゃ」と困っているお婆さんに先生が扮し、生徒二名が優しく上手に接する事ができました。会場から笑い声がおこり、大きな拍手がありました。

最後に代表の生徒から「認知症の講義がわかりやすかったです。今回の講義を踏まえて、認知症の人に接していきたいと思えます」と心強い言葉がありました。



生徒の代表あいさつ

中学生の感想

- ◆ 優しく接することが大切
- ◆ 少しでもサポートできるよ
- ◆ うになりたい
- ◆ 「不便だけれど不幸ではない」すごく良い言葉
- ◆ 認知症の予防方法を知りたい など

【福祉部会】

ポッチャ体験会

二月三日(土)  
参加者 二十八名  
県立スポーツセンター  
スポーツアリーナ1  
2階多目的フロア2

対象 社協理事・部会員

ポッチャは東京パラリンピックで一躍人気になった競技です。障がいにとらわれず、子どもから大人まで多くの人

が楽しめるスポーツとしても注目されています。  
今後ポッチャ大会を企画するため、コートの作り方、ボールの投げ方、ルール等を学びました。

【ふれあい部会・福祉部会】



ポッチャ体験

ふれあいしめ飾りづくり

十二月二十三日(土)  
参加者 三十六名  
善行市民センター  
健康プラザ棟  
対象 善行地区在住の方

参加者は、新しい年を手作りした正月伝承のしめ飾りで迎えようと、地域の方々の手ほどきを受け、真剣に取り組んでいました。



わらで三つ編み

【ふれあい部会】

自治連・社協 合同視察研修会

開催日 二月二十日(火)  
参加者 自治会関係者・社協会員など二十九名  
視察先 伊能忠敬記念館  
成田山新勝寺

ふれあい子育てひろば

毎月一回 第二木曜日  
十時～十一時半  
善行市民センター健康プラザ棟  
対象 乳幼児と保護者



ぼんぼこ人形劇

今後の予定 ふれあい子育てひろば

6/13 7/11 8/8 9/19  
10/10 11/14 12/12  
\*9月は第三木曜日です

【福祉部会】



# 善行地区 社会福祉協議会の事業と決算

## 令和五年度 事業報告

(会議)

四月 六月 七月 八月 十月  
十二月 二月 三月

・総会・役員会・理事会  
を開催

六月 七月 十二月 一月

・事業計画検討会を開催

(全体事業)

随時・百歳訪問実施

五月・日赤社資募集

六月・のりあい善行への協力  
・地区社会福祉活動に

助成金支給

八月・賛助会員を募集

十月・赤い羽根共同募金実施  
・公民館まつりに参加

十一月・年末たすけあい  
共同募金実施

十二月・年末見舞金の支給

二月・視察研修の実施

(福祉部会)

九月・善行地区敬老会

二月・福祉講演会

(ポッチャ体験会)

・中学生向け認知症  
サポーター養成講座



西野会長から市社協へ

三月八日に社協理事会から市社協を通して能登半島地震募金を行いました。

## 令和六年度 事業計画

### 活動方針

福祉の街づくりをテーマに、自治会等の賛同を得ながら、善行地区住民の積極的な参加促進を図り、住みよい文化的な環境、心豊かな人づくりを目指し、地域住民の要望にこたえられる福祉の増進を図る。

### 事業内容

- 一、地域福祉活動の充実・啓発・宣伝  
・ボランティア活動の援助及び活性化  
・「福祉だより」の発行
- 二、地域福祉計画の実践(子育て支援事業「ふれあい子育てひろば」等)
- 三、高齢者、児童及び心身障がい者(児)等への福祉事業の実施
- 四、地域福祉増進のための協力団体への助成
- 五、日赤社資募集、共同募金等の運動に協力

歳入の部		歳出の部	
項目	金額	項目	金額
繰越金	1,106,880	事務費	190,121
会費	1,261,900	会議費	30,717
一般会費	(686,400)	渉外費	2,720
賛助会費	(575,500)	事業費	2,657,829
交付金	490,000	助成金	320,000
日赤事務費	(47,000)	負担金	56,500
共同募金事務費	(42,000)	予備費	167,200
市社協交付金	(401,000)	次期繰越金	975,228
補助金等	1,292,000		
事業収入等	223,530		
雑収入	26,005		
合計	4,400,315	合計	4,400,315

歳入の部		歳出の部	
項目	金額	項目	金額
繰越金	975,228	事務費	150,000
会費	1,345,000	会議費	30,000
一般会費	(765,000)	渉外費	10,000
賛助会費	(580,000)	事業費	3,730,000
交付金	490,000	助成金	380,000
日赤事務費	(47,000)	負担金	56,500
共同募金事務費	(42,000)	予備費	170,500
市社協交付金	(401,000)		
補助金等	1,460,000		
事業収入等	250,000		
雑収入	6,772		
合計	4,527,000	合計	4,527,000

善行地区社会福祉協議会は自治会連合会加入の自治会・町内会費より年間一世帯九〇円(令和六年度)の会費及び賛助会費・補助金や寄付金で運営されております。

### 善行市民センター

#### 職員の異動

四月一日付で人事異動がありました。

#### 【転出】

地域づくり 担当 下村 誠司

折笠 晃子

井出 千鶴

浮津 和広

神宮司 智子

#### 住民サービス

担当 千葉 則子

武井 千絵

#### 【転入】

#### 地域づくり

担当 藤原 奈緒

広岡 夏美

高橋奈緒子

宮崎真紀子

磯村 真弓

#### 住民サービス

担当 黒河 昌子

秋山 祥子

◇よろしくお願ひします

「ご寄付ありがとうございました」

聖園マリア幼稚園

### 編集後記

科学の世界は日進月歩であると言われますが、携帯電話はこの数十年ものすごいスピードで進化を続けてきました。

スマートフォンはいつ頃からあったか知っていますか? アイフォンは二〇〇七年に、アンドロイドはその翌年に商品化されました。現在スマホの利用率は携帯電話全体の約九割以上になっています。

高齢者がスマホをうまく使えないという声を耳にしますが、その理由はタッチ操作がうまくできない・カタカナ用語が覚えられない・画面のどこに触れているのかわからないなどでした。それを解決するためにには講習会に参加したり、仲間・友人・家族などにサポートしてもらうことが大切です。

日々の生活を楽しく快適にかつ人や社会と交流するためには、スマホは重要なコミュニケーションツールです。是非スマホを使ってみようではありませんか。

### 編集委員

池田 翠 大庭 一  
小野 久美 加藤 滋代  
佐久間美知子 末吉真由美  
高橋 洋子 服部 悦子

(イラスト) 井上幸重

